

## 船員ファクトファイル

### 弁護士を使う

船員として、あなたが雇用されている間に、もし法律問題に面すれば、弁護士に相談する必要があるかもしれません。

あなたの雇用中に生じる法律問題は、弁護士が必要な場合も、それが必要ではない場合もあります。たとえ本来法律問題であっても、問題の中には、他の手段で対処する方がふさわしい場合もあります。例えば、あなたの雇用主が設けた手続きや雇用契約書で定められた手続きを使う、旗国及び/または寄港国の行政に関与させる、福祉団体を通じて提供されているサービスを使う、そして適切な労働組合を関与させるなどです。

しかしながら、もしあなたが弁護士を必要ならば、それなら、このファクトファイルは、あなたが弁護士を見つけ、雇うことができるようにする、実際的な指針を提供することを目的としています。これは、また、法律アドバイスの費用をどのように交渉するか、また無料の法律アドバイスをどのように見つけるかを説明しています。

個別の国で弁護士を使う場合の指針は、船員の権利インターナショナル（SRI）のウェブサイト [www.seafarersrights.org](http://www.seafarersrights.org) をご覧ください。

これは一般的なガイドであり、特定の国で弁護士を使う個別のガイドがない場合に利用できます。

弁護士は、世界中でいろいろな肩書で知られています。それには、'advocate'、'Legal consultant'、'Attorney'、'barrister'、'solicitor'、'counsellor'、もしくは単純に'lawyer'があります。

## 弁護士を雇う

もしあなたに法律問題があれば、その時に最初に決めなければならないことは、どの国で弁護士が必要かです。これはその法律問題の具体的な内容によります。

### 法律問題の例

法律問題の種類	弁護士を雇う国	必要な法律専門知識
リクルーメントもしくはマンニング業者に対する申し立て	リクルーメントもしくはマンニング業者のある国。	海事弁護士（船員の申し立ての専門知識を持つ）
雇用契約の下での未払い賃金やその他の金銭的申し立て、例えば、本国送還、遺棄、未払いの残業、雇用契約の不当解除	船舶の停泊している港；及び/または雇用会社が登録事務所を持つ、もしくは実際に事業を行っている国	海事弁護士（船員の申し立ての専門知識を持つ）
雇用者に対する、あなたの所有物の損失もしくは損害の申し立て	船舶の停泊している港；及び/または雇用会社が登録事務所を持つ、もしくは実際に事業を行っている国	海事弁護士（船員の申し立ての専門知識を持つ）
勤務中の人身傷害/死亡に対する申し立て	その傷害/死亡が起きた場所；及び/もしくは船舶が訪れた港の一つ；及び/または雇用会社が登録事務所を持つ、もしくは実際に事業を行っている国	人身傷害弁護士
海難や事件	海難もしくは事件の起きた港；及び/または海難や事件の後、船舶が着岸した最初の港	海事弁護士（船員の申し立ての専門知識を持つ）
犯罪捜査/起訴	犯罪捜査/起訴が行われる国	刑事弁護士
引揚業務の申し立て	船舶、積荷もしくは貨物のある国；及び/または船舶と積荷の所有者が登録事務所を持つ、もしくは実際に事業を行っている国	海事弁護士（船員の申し立ての専門知識を持つ）
誰か他の人の、船員に対する民事請求	船員に対して請求がなされている国	民事法請求の経験のある弁護士

## 弁護士の見つけ方

弁護士は以下のようなべきです：

- あなたの抱える種類の法律問題の経験があること。例えば、海事法は専門の分野です。海岸線のあるすべての国に個別の海事法があるでしょうし、時には海事裁判所があります。しかしながら、すべての弁護士が海事法に詳しいわけではありません。
- もし弁護士が、その紛争で、または通常、船主や他の海事関係者の代理人もしている場合には、あなたの弁護士を務めるべきではありません。これは利害の対立を起こす可能性があり、弁護士が独立してあなたにアドバイスすることができないかもかもしれません。

船員は弁護士を見つけられます：

- 船員の権利インターナショナル（SRI）のウェブサイトですリストに挙げられている人。このウェブサイトは、[www.seafarersrights.org](http://www.seafarersrights.org)です。ここで、船員への法律サービス規定の適正実施憲章に加入している弁護士/法律事務所のリストが見られます
- 専門弁護士が並べられて、評価されている国際ガイドや人名簿のリストに挙げられている人。これらのウェブサイトの例としては、[www.legal500.com](http://www.legal500.com) と [www.chambersandpartners.com](http://www.chambersandpartners.com) (英語のウェブサイト) があります
- 個別の国の法律専門家の会員団体や規制機関にリストされている人。しかしながら、これらのウェブサイトは多くの場合外国語です
- 友人や家族の紹介
- 現地の労働組合や福祉団体の紹介
- 現地の領事館の紹介

## 弁護士を雇う

もしあなたに法律問題があれば、弁護士をなるべく早く選任すべきです。というのは、ほとんどの法律手続きは、特定の期間内に提起する、もしくは抗弁される必要があるからです。

弁護士があなたの代理人となることに合意した時点で、その弁護士は、以下のことを説明する必要があります：

- あなたの問題を解決するための選択肢
- あなたの望む結果を得られる可能性
- その事案にどの程度時間がかかるか
- なすべき仕事にかかりそうな費用の見積もり
- 法律扶助が利用できるかどうか
- もしあなたが敗訴した場合、あなたが支払わねばならないかもしれないものは何か
- 相手方の法律費用への担保を供さねばならないかどうか
- もしあなたが弁護士のサービスに不満であれば、どうすればよいか

通常、法律問題の処理中、弁護士はあなたに進行状況を定期的に知らせる必要があります、職業上の規則に従う必要があります。

## 弁護士に支払う

一般的な料金の取り決めは以下に記述されたとおりです。しかしながら、これらの取り決めはすべての国で常に利用できるわけではありません。

- 成功報酬は、あなたに有利な結果が出る場合のみ料金が支払われるので「負ければ無料」と呼ばれます。成功報酬は通常、裁判であなたに与えられた金額の一定割合として計算されます。弁護士が成功報酬方式で料金を請求することを許されていない国もあります。しかしながら、弁護士は、成功報酬に似た、条件付き報酬で請求するかもしれません
- 均一、もしくは定額料金は、弁護士が定まった総料金を請求する場合です。それは時に申し立て額の一定の割合です。これは、概して、申し立てが比較的簡単、もしくは型にはまったものである場合に提供されます。しかし、それでも、どのサービスとどの経費が含まれており、何が含まれていないかをはっきりと聞くことが大切です
- 時間料金は、弁護士があなたの申し立てに関する仕事に費やした時間数に従って請求するものです。時間料金は、様々な要因、例えば、場所、経験、それに弁護士の評判などでかなり違います。弁護士の中には異なった種類の仕事（法律調査に対して出廷）に異なった料金を請求する人がいます
- 弁護士依頼料とは、今後の費用が勘定書で請求されるのに対して、前金の機能を果たす規定料金を弁護士に払うものです。依頼料は通常返金不可です。そしてもし料金がその依頼料の金額を超えた場合には、その額も支払わねばなりません。依頼料を超える追加の料金は、問題が裁判所に行く必要のある場合によく要求されます
- 法定料金とは、特定の国の法が法規で料金を決める場合、もしくは、船員が支払わねばならない料金を裁判所が定め、認める場合です。

## 無料法律アドバイスを得る

以下は、無料の法律アドバイスを求めるための選択肢です。

### 法律扶助

法律扶助は、弁護士を雇う金銭的余裕のない人に法律サービスを利用できるようにする制度です。しかしながら、どの国でも利用できるものではありませんし、すべての種類の法律問題に利用できるわけではありません。大きく分けて、二つの種類の法律扶助があります：民事法律扶助と刑事法律扶助です。

**民事法律扶助：** 法律扶助を民事請求に提供する国もありますが、これは、多くの場合、その国の国民もしくはその国の住民のみが利用できます。

**刑事法律扶助：** 法律扶助をすべての刑事犯罪にたいして提供する国もありますが、殺人のような重罪に対してのみ提供する国があります。

**法律扶助相談所：** 多くの国では、政府は法律扶助相談所に資金を提供しており、相談所は、一般に、貧しい人々や困窮した人々の事案のみを扱います。資金が限られているため、特定の種類の事案のみを取り扱うかもしれません。

## ‘プロ・ボノ’ 法律サービス

‘プロ・ボノ’とは、ラテン語の言葉で、自発的に、または報酬なしで、もしくは公共サービスとして減額した料金で専門の仕事が行われることです。民間の法律事務所で働く弁護士はよく、プロ・ボノの事案に一定割合の時間働くことがあります。そのため、弁護士がプロ・ボノ法律サービスを提供しているかどうか、もし提供しているならば、あなたがその適用を受けられるかどうか問い合わせるべきです。

## 非政府機関

船員のような、労働者のグループを代表している若干の非政府機関（NGOs）は、無料の法律サービスを提供していることがあります。現地の労働組合や船員センターに連絡を取り、無料の法律アドバイスを提供しているかどうか調べてみるができます。

## 電話ヘルプライン

ヘルプラインは、船員が利用できますが、これは当初のアドバイスを提供するだけです。個別のアドバイスは弁護士に相談する必要があります。

## もし弁護士と問題が起きた時には

ほとんどの国では弁護士に弁護士協会に所属し、弁護士の行動規範に従うよう求めています。そのため、もし、あなたが、あなたの法律問題の取り扱い（例えば、遅れがあるなど）に不満があれば、その弁護士/法律事務所、もしくはその弁護士の専門規制機関に苦情を申し入れることができます。もし弁護士に過失があれば、その弁護士に対して訴訟を起こすことができます場合があります。

覚えておいていただきたいことは - どの段階であっても、あなたは弁護士を変更することができるということです。しかしながら、これはかなり高くつく場合があります。新しい弁護士があなたの問題をよく理解することが必要だからです。また、あなたが弁護士を変えた場合には、事案の締め切りに遅れないように注意することが大切です。

## 弁護士を使う場合のチェックリスト

- ✓ どの国で弁護士が必要か決める
- ✓ あなたの法律問題の種類のある経験のある弁護士を探す
- ✓ その弁護士に利害の衝突がなく、独立した法律アドバイスができるか確認する
- ✓ あなたが無料の法律アドバイスを利用できるかどうか問い合わせる
- ✓ あなたが受け入れられる料金取り決めを交渉する
- ✓ あなたの事案について進行状況を定期的に知らせてくれるよう依頼する
- ✓ 覚えておくことは、もしあなたが弁護士のサービスに満足しなければいつでも弁護士を変えられ、もしくは苦情を申立てることができることである

船員への法律サービス規定の適正実施憲章に加入している弁護士のリストは [www.seafarersrights.org](http://www.seafarersrights.org) にアクセスして下さい

## 船員の権利インターナショナル (SRI)

49-60 Borough Road, London SE1 1DR, United Kingdom

Tel: +44 (0)207 940 9320/9332 / Email: [legal@seafarersrights.org](mailto:legal@seafarersrights.org)

2013年6月

船員の権利インターナショナル (SRI) は、船員と法律に関する問題の研究、教育そしてトレーニングを通して船員の権利の向上に献身している独立したセンターです。